

# ナシ紅粒がんしゅ病の 罹病部の剪除による防除法

## ○紅粒がんしゅ病の被害

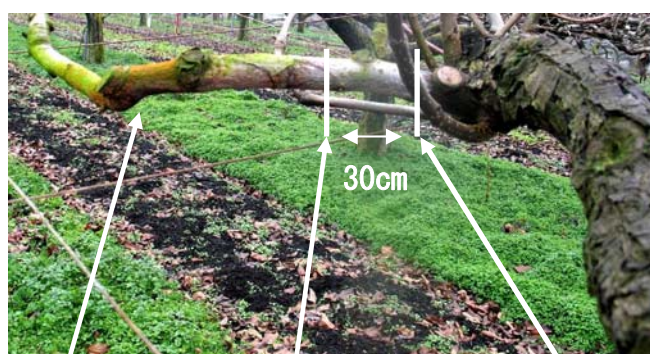
- ・骨格を形成する主枝・亜主枝が枯死するため減収に直結します。
- ・本病の防除法として、罹病部を剪除した後、切口にチオファネートメチルペースト剤の原液を塗布することが知られていますが、剪除が不十分な場合には再発します。



紅粒がんしゅ病による枝の枯死

不明であった罹病部の剪除程度が防除効果に及ぼす影響について調査し、発生部位別に最適な剪除程度を明らかにしました。

## ○側枝上の病斑への対応



病斑          罹病部と  
健全部の境界          切り戻す位置

- ・側枝上の病斑は、30cm 以上の切り戻しにより防除効果が安定します。

## ○骨格枝上の病斑への対応



- 病斑          木部の褐変
- ・骨格枝上の病斑は、木質部の褐変部位を完全に削り取ることが重要です。